ID016 (cal.8989)

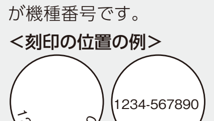
取扱説明書

このたびは、シチズンウオッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。
シチズンホームページ（http://citizen.jp/）でも操作説明がご覧いただけます。

機種番号の見かた

時計の裏ぶたに、アルファベットを含む４ケタと６ケタ以上からなる番号が刻印されています。この番号を「側番号」といいます。側番号の先頭の４ケタが機種番号になります。図では「1234」が機種番号です。

＜刻印の位置の例＞



時計によって表示位置は異なります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
🚫	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

＜保護シールについて＞

時計には工場出荷から販売店までのキズ防止のために、ガラス、裏ぶた、金属バンド、中留めの金属部分に保護シールをつけて出荷しているものがあります。このシールをつけたまま使用されますと、シールのすき間に汗や水分が入り込んで汚れによるかぶれや金属部分の腐食の原因となることがあります。必ずシールをはがしてご使用ください。

＜金属バンド等の調整について＞

お客様ご自身で、バンド調整は行わないでください。落下による時計の破損や、バンド調整時に工具等によるケガにつながる可能性があります。お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口で承っております。
また、上記以外では、有料もしくは取り扱っていただけない場合があります。

仕　様

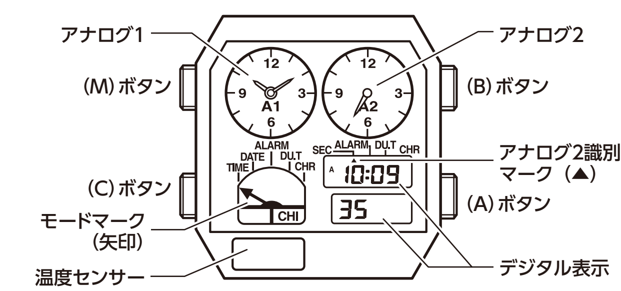
機種：	8989
型式：	コンビネーション (アナログ+デジタル) 水晶時計
時間精度：	平均月差 ±15 秒 常温（+5℃～+35℃）での携帯時
動作温度：	0℃～+55℃
表示機能：	【アナログ1】時、分 【アナログ2】秒、アラーム時、ローカルタイム時、クロノグラフ計測時間（時）のいずれかを目安表示 【デジタル】時刻：時、分、秒 カレンダー：曜、日、温度 アラーム：時、分、温度メモ デュアルタイム：ローカルタイム（時、分、秒） クロノグラフ：12 時間計 (1/1000 秒単位)、スプリットタイム計測
付加機能：	ランプ機能／温度計機能／電池寿命切れ予告機能
使用電池：	電池番号 280-30 ／ 電池コード SR1120W
電池寿命：	約2年（アラーム音：20 秒／日、チャイム：24 回／日、ランプ：3 秒／日使用した場合）

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

商品の特長

この時計は、時刻のほかにカレンダー、アラーム、クロノグラフやデュアルタイム機能等を持った、コンビネーションクオーツウオッチです。また、常に最新の温度を計測表示する温度計機能を搭載しています。

各部の名称



ランプ点灯方法：
(C) ボタンを押すと、ランプが点灯します。

アナログ1：
常に現在時刻（時、分）を表示します。

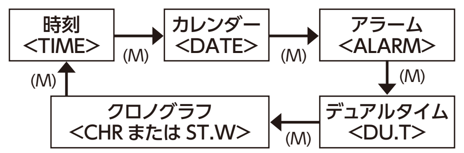
アナログ2：
「秒（時刻)」、「アラーム時刻」、「ローカルタイム」のいずれかを目安表示します。ただし、クロノグラフモードでは、「計測時間（時）」に切り替わります。

※お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは異なる場合があります。

表示の切り替え

(M)ボタンを押すごとにモード (機能) が切り替わります。モードマーク (矢印) で現在のモードを確認できます。
(B)ボタンを押すごとにアナログ２の表示が切り替わります。アナログ２識別マーク (▲) で現在の表示を確認できます。

〈モードの切り替え：(M) ボタンを押す〉



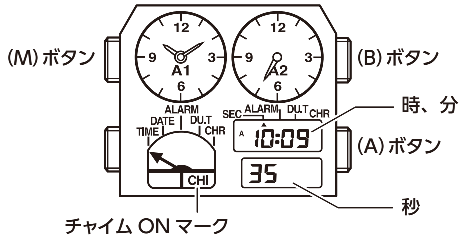
※温度計はカレンダーモードで計測表示します。

〈アナログ２表示の切り替え：(B) ボタンを押す〉

※クロノグラフモードでは常に「計測時間(時) ＜ CHR ＞」を表示します。

時刻の合わせかた <TIME>

【時刻通常表示】



〈チャイムの ON ／ OFF〉

時刻通常表示で (A) ボタンを2秒以上押すごとに、チャイムの ON と OFF が入れ替わります。チャイムをONにすると、モードマーク表示の下にチャイム ONマーク(CHI)が表示されます。

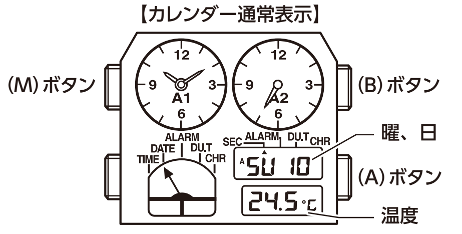
1. 時刻通常表示で (B) ボタンを２秒以上押し続けると、" 秒" が点滅し、修正状態になります。
2. 修正状態で (B) ボタンを押すごとに［秒→分→時→ 12 時間／ 24 時間→アナログ１修正→アナログ２修正］の順で点滅箇所が変わりますので、修正したい箇所を点滅させます。
3. (A) ボタンを押して、点滅している箇所を修正します。(A) ボタンを押し続けると早送りできます。
   - 秒は、(A) ボタンを押すと "00" 秒に戻り、スタートします。
   - 12 時間制／ 24 時間制表示は、(A) ボタンを押すごとに交互に切り替わります。
   - アナログ１（「時」と「分」が同時に点滅）は、(A) ボタンを押すごとに針を時計回りで 1/3 分 (20 秒分) ずつ修正できますので、デジタル時刻と同じ時刻に合わせます。
   - アナログ２（「00」と「アナログ２識別マーク」が同時に点滅）は、(A) ボタンを押すごとに針を時計周りで１目盛ずつ修正できますので、０秒位置 (12 時位置) に合わせます。
4. (M) ボタンを押して通常表示に戻します。

- アナログ２の「秒」表示はデジタル時刻の「秒」と連動しています。
- 12 時間制表示のときは、午前 (A) ／午後 (P) に注意して時刻を合わせてください。
- 時刻修正状態 (点滅表示) で約２分以上ボタン操作が行われないと、自動的に時刻通常表示に戻ります。
- 修正状態で (M) ボタンを押すと、すぐに時刻通常表示に戻ります。

カレンダーの合わせかた <DATE>

カレンダーモードでは、デジタル表示に温度が計測表示されます。

【カレンダー通常表示】



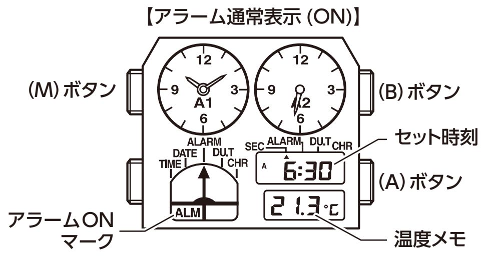
1. カレンダー通常表示で (B) ボタンを２秒以上押し続けると、デジタル表示下段で "月" が点滅し修正状態になります。
2. 修正状態で (B) ボタンを押すごとに、［月→日→年］の順で点滅箇所が変わるので、修正したい箇所を点滅させます。
3. (A) ボタンを押して、点滅している箇所を修正します。＊(A) ボタンは押し続けると早送りできます。
4. (M) ボタンを押して通常表示に戻します。

- カレンダー修正状態では、アナログ２表示は常に秒を表示します。
- 年、月は修正時のみ表示されます。
- 年は、1999 ～ 2099 年の間でセットできます。
- カレンダー修正状態 (点滅表示) で約２分以上ボタン操作が行われないと、自動的にカレンダー通常表示に戻ります。
- 曜は、年、月、日の修正によって自動的に修正されます。
- 非存日 (例えば、２月 30 日など) に合わせた場合は、通常表示に戻すと、自動的に翌月の１日を表示します。
- オートカレンダーのため、うるう年を含め月末の修正は不要です。
- カレンダー修正状態で (M) ボタンを押すと、すぐにカレンダー通常表示に戻ります。

アラームの使いかた <ALARM>

このアラームは1度セット(ON)すると、毎日同じ時刻に約 20 秒間アラームが鳴ります。また、アラームセット時刻の温度を自動的に記憶し、温度メモとして表示します。鳴っているアラームは、いずれかのボタンを押せば鳴りやみます。

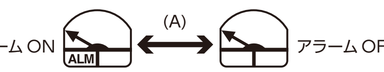
【アラーム通常表示 (ON)】



1. アラームモードで (B) ボタンを２秒以上押し続けると、" 時 " が点滅し、修正状態になります。
2. (A) ボタンを押して「時」を修正します。
3. 「時」が点滅している状態で (B) ボタンを押すと、「分」が点滅します。
4. (A) ボタンを押して「分」を修正します。＊(A)ボタンは押し続けると早送りできます。
5. (M) ボタンを押して通常表示に戻します。

- アラーム修正状態では、アナログ２表示はアラームセット時刻の目安を表示します。
- 時刻モードが 12 時間制表示のときは、アラーム時刻も 12 時間制表示となりますので、午前 (A)/ 午後 (P) に注意してセットしてください。
- アラーム修正状態で約２分以上ボタン操作が行われないと、自動的にアラーム通常表示に戻ります。
- アラーム修正状態で (M) ボタンを押すと、すぐにアラーム通常表示に戻ります。
- アラームモードで (A) ボタンを押している間、アラームの確認ができます。
- 記憶された温度メモは、次のセット時刻の温度を記憶するか、新たにアラームをセットし直すまで表示されます。

〈アラームの ON ／ OFF〉

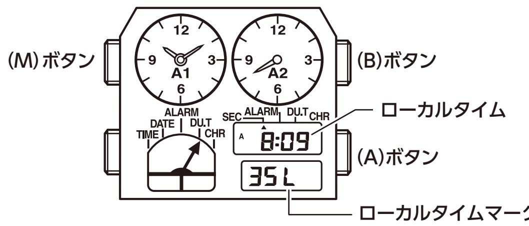


アラーム通常表示で (A) ボタンを押すごとに、アラームの ON（セット）と OFF（解除）が切り替わります。アラームをONにすると、モードマーク表示の下にアラーム ON マーク (ALM) が表示されます。

デュアルタイムの使いかた <DU.T>

時刻モードの時刻と異なるもう1つの時刻（ローカルタイム）をこのデュアルタイムモードでセットできます。
ローカルタイムの秒は、時刻モードの秒と連動しています。

【デュアルタイム通常表示】



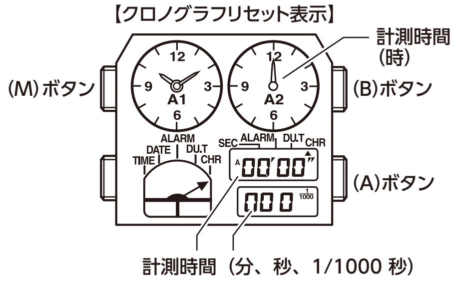
1. デュアルタイムモードで (B) ボタンを２秒以上押し続けると、" 時 " が点滅し、修正状態になります。
2. (A) ボタンを押して「時」を修正します。
3. 「時」が点滅している状態で (B) ボタンを押すと、「分」が点滅します。
4. (A) ボタンを押して「分」を修正します。＊(A)ボタンは押し続けると早送りできます。
5. (M) ボタンを押して通常表示に戻します。

- 修正状態では、アナログ２表示はローカルタイム時刻の目安を表示します。
- 修正状態で約２分以上ボタン操作が行われないと、自動的にデュアルタイム通常表示に戻ります。
- 修正状態で、(M) ボタンを押すとすぐにデュアルタイム通常表示に戻ります

クロノグラフの使いかた <CHR または ST.W>

このクロノグラフは、1/1000 秒単位で最大 "11 時間 59 分 59 秒 999" まで計測表示します。12 時間計測終了後は "0 時間 00 分 00 秒 000" に戻り停止します。また、スプリットタイム（途中経過時間）の計測もできます。

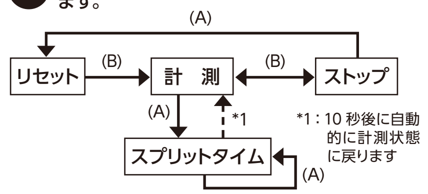
【クロノグラフリセット表示】



操作確認音：クロノグラフモードで (A) または、(B) ボタンを押すごとに確認音が鳴ります。

＜積算計測のしかた＞

1. (B) ボタンを押すとクロノグラフ計測がスタートします。
2. 計測中に (B) ボタンを押すとストップし、再度 (B) ボタンを押すと再スタートします。
3. ストップ中に (A) ボタンを押すとリセットします。

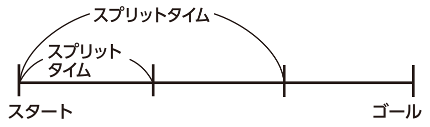


＜クロノグラフ計測中のモード切り替え＞

クロノグラフ計測中に (M) ボタンを押してモードを切り替えても、計測は継続していますので、再びクロノグラフモードに戻せば計測の続きを表示することができます。

＜スプリットタイム計測のしかた＞

1. (B) ボタンを押すとクロノグラフ計測がスタートします。
2. 計測表示中に (A) ボタンを押すと、10 秒間スプリットタイムを表示します。（スプリットタイム表示中は "SPL" が点滅表示します。）
3. (A) ボタンを押すごとに最新のスプリットタイムを計測表示します。
4. ストップ中に (A) ボタンを押すとリセットします。



スプリットタイム：スタート地点からの途中経過時間のことです。

温度計の使いかた

温度計は、カレンダーモードで使うことができます。この温度計は時計周囲の温度を自動的に計測し、デジタル部に表示します。また、温度の計測間隔を毎分または毎秒のどちらかで選択できます。

＜温度計測間隔の切り替え＞

カレンダーモードで (A) ボタンを押すごとに、毎秒計測／毎分計測を交互に切り変えます。選択された計測間隔で「℃」のマークが点滅します。
ただし、毎秒計測を選択した場合は、約3分間の毎秒計測後、自動的に毎分計測に戻ります。

＜温度計測範囲と計測精度＞

表示温度範囲	－9.9℃ ～ +59.9℃
表示単位	0.1℃
計測精度	+20℃～ +30℃：± 1℃ －5℃ ～ +40℃：± 2℃

（注意）
- 温度測定の際、時計を腕につけている状態では体温の影響を受けます。正確な温度を測定するためには、時計を腕から外し、少なくても 20 分～ 30 分測定を行う温度環境になじませてください。
  時計が、その温度環境になじむまでの時間は、温度差や場所などによって異なります。
- 上記の表示温度範囲を超えて温度計を使用しないでください。極端な高温または低温で使用すると、故障の原因となる場合があります。

電池寿命切れ予告機能

電池寿命が近づくと、デジタル表示上のコロン（：）が点滅をはじめます。また、アナログ２が秒表示をしている間に限り、アナログ２が２秒運針（２秒に１回、２目盛ずつ運針）に変わります。このような場合は、早めに電池交換を行ってください。

オールリセットについて

電池交換をした後や、時計に強い衝撃や静電気が加わり時計が異常な表示や動作（表示しない、アラームが鳴り続ける等）をしたときは、次のオールリセットを行ってください

＜オールリセット＞

1. (A)、(B)、(C)、(M) ボタンを4つ同時に押します。
2. ボタンを離します。
これで、オールリセット操作は終了です。
オールリセット後は、時刻をはじめ各モードの表示を正しく合わせ直してご使用ください。

お取り扱いにあたって

⚠ 注意　人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

⚠ 警告　防水性能について

- 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- 日常生活用防水時計（3 気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- 日常生活用強化防水時計（5 気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキンダイビング）やスキューバ潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計（10 ／ 20 気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。
- 時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。
  （1bar は約 1 気圧に相当します）
- WATER RESIST (ANT) xx bar は W.R. xx bar と表示している場合があります。

名称	表示 文字板または裏ぶた	仕様	使用例 水がかかる程度の使用。(洗顔、雨など)	水仕事や、一般水泳に使用。	スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。
非防水時計	──	非防水	×	×	×	×	×
日常生活用防水時計	WATER RESIST (ANT)	3 気圧防水	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 5 bar	5 気圧防水	○	○	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 10/20 bar	10 気圧防水 20 気圧防水	○	○	○	×	×

⚠ 注意　使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量の汗をかいた後は、真水でよく洗いよく拭き取ってください。
- 時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうずなど）が外れる危険があります。

⚠ 注意　時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなることがありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたら、すぐに使用を中止して医師に相談してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

⚠ 注意　携帯時の注意

《バンドについて》
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります（脱色、接着はがれ）。また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ウレタンバンドは、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取り替えください。

《温度について》
- 極端な高温 / 低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

《静電気について》
- クオーツ時計に使われているＩＣは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

《磁気について》
- アナログ式クオーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、磁気調理器などに近づけないでください。

《ショックについて》
- 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

《化学薬品・ガス・水銀について》
- 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

⚠ 注意　時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド・プラスチックバンド・ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などをよく拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

《夜光付き時計の場合は》
時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。
この塗料は太陽光や室内照明（白熱灯を除く）などの光を蓄え、暗い所で発光します。
- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間などによって発光する時間に差異が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合があります。ご注意ください。

⚠ 警告　電池の取り扱いについて

- 幼児の手が届かないところに置いてください。
- 誤って電池を飲み込んだ場合にはただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。
  発火、環境破壊の原因となりますので、お住まいの自治体の指示に従ってください。

⚠ 注意　電池交換について

- 電池寿命切れの電池をそのままにしておきますと、漏液等により故障の原因となることがあります。
  早めに電池交換をしてください。
- 電池交換の際は必ず指定電池をご使用ください。

保証とアフターサービス

＜保証について＞

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

＜修理用部品の保有期間について＞

当社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常７年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

＜修理可能期間について＞

当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

＜ご転居・ご贈答品の場合＞

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問合せ窓口へご相談ください。

＜定期点検（有償）について＞

安全に永くご使用いただくために、２～３年に一度、点検（有償）を行ってください。防水時計の防水性能は経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやバネ棒などの交換を行ってください。部品交換の際は、純正部品とご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検または修理を行う必要がある場合もありますので交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店または弊社お問合せ窓口へご相談ください。

＜電池交換について＞

お買い上げの時計に使用されている電池は機能・性能を確認するためのモニター用電池です。お買い上げ後、所定の電池寿命に満たないうちに寿命が切れてしまうことがありますので、ご了承ください。
※電池寿命が切れた場合は、保証期間内であっても電池交換は有料となります。

＜その他お問い合わせについて＞

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問合せ窓口へご相談ください。

メモ